Phase1：業務部門にデモを行うために必要最低限な機能（理想的な使い方に限定）  
ex. 図書リストに登録したもののみを管理する  
　　個別登録や一括申請、一括承認は対象外とする

Phase2：業務部門が（サンプルプロジェクトで）使用できるレベルの機能（基本的な使い方に限定）  
ex. 図書リストに登録したものの管理＋個別登録したものの管理  
　　一括申請や一括承認も必要

Phase3：業務部門が（サンプルプロジェクトで）使用できるレベルの機能（実務をイメージした使い方）  
ex. ある程度の例外対応も想定する  
　　使い勝手にも“ある程度”配慮する

Phase4：実システムをイメージした機能

　　　　ex. 実システムで必要となりそうな機能まで拡張して構築してみる